

平成29年度第8回安城市地域ケア推進会議及び安城市医療・介護・福祉ネットワーク協議会

日時 平成29年11月16日(木)

午後1時30分～午後3時

場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

本日の議題にも挙がっている ICT については、近隣では岡崎市の次に始まっている。他市との連携についても安城市が先頭となって進めていけるとよい。

2 議題

(1) 部会検討内容の報告(資料1)

- 1) 訪問看護ネットワーク部会(訪問看護の啓蒙活動の一環としての、医師会との勉強会)
 - ・3か月ごとに行っている医師会との勉強会の中で行った。
 - ・2月16日にケアマネット部会と、事前に双方にアンケート済み。訪問看護とケアマネの相互理解のための研修会を予定。講習形式で行う。
- 2) ケアマネット部会(ICTの活用)
 - ・今後もケアマネットの中で勉強会をするなどケアマネが患者登録に積極的に関わられるようにしていきたい。

(2) 在宅医療・介護連携推進のための研修会実施報告(資料2)

- 1) 医師会部会・ケアマネット部会
 - ・アンケート結果からも満足度の高い研修会だった。
 - ・2事例挙げて研修会を行ったことで、より具体的な活用方法が理解できた。
 - ・個別相談もあったため、疑問が解決できる有意義な研修会だった。
 - ・運用を開始して1年たつ。急なことは電話連絡をするなど、使い分けている。
 - ・一番利用者に接しているヘルパーさんなどの事業者の情報が役に立つことも研修会から分かった。

質問) 当面は研修会でケアマネット部会は進めていくのか

回答) ケアマネット部会の中で研修を進めていく

ご意見) 同時改定で電話を使ったカンファレンスでもオッケーになるかもしれない、スピード感がある。連携方法の検討が今後必要となってくると思われる。

(3) サルビー見守りネットについて

- 1) 安城市の現状とアンケート結果の報告(資料3)
 - ・10月14日の研修会の内容をもう一度報告させていただく
 - ・サルビー見守りネットの活用が進んでいるのは、先生方の啓発の力も大きいと感じている。
- 2) 検討課題(研修会で出た意見のうち主に取り組むもの)
 - ・他市のシステムとの共用について
事務局)近隣各市の事務局と調整していく。

・障害者手帳などを所持する市民の患者登録について

事務局) ニーズ把握を行うことが必要。市の障害福祉課と高齢福祉課と検討していく。

・病診連携におけるサルビー見守りネットの活用について

事務局) 研修会のアンケートでも必要だという声が多くあった。クリアしなければならない課題を明らかにして検討していく。

ご意見) いい点としては同時に発信できるが、悪い点としては、記録が 2 重で手間となる。

ご意見) 記録は紙でとか、5 年保管など決まりがあるが、電子媒体で残すことは可能となるか。

事務局) 掲示板のように流れていくので記録としては難しい。記事は消えない。介護保険の記録は法令で決まっている。保管年数を縮小するのは難しい。電子媒体でよいかはわからない。市が文書保存について定め各事業所へ指示することは難しいか。周りの状況を見ながら記録として活用できる方法があれば検討していくが、すぐには難しい。

ご意見) 二重記録問題はどこもある。IOT など記録したものがそのまま飛ぶなど統括できるといいねとエンジニアからも話が出ている。できるようになった時には柔軟に対応していただけるとよい。

ご意見) サルビー見守りネットの記事は、記録とは若干ニュアンスが違うものを書いているのでそのまま記録に活用していいか分からないが、記録などが簡便になる方法があればよい。

28 年から、電子加算ができてきている。紙だけでは済まなくなってくるかもしれない。

質問) 障害者領域でもニーズがあり必要だと思う。予算の出所が大きな問題か。障害者でも利用できるようになるのは、すごく先になると感じていた。療育手帳も含めて考えてくださるとありがたい。

事務局) 今後、地域包括ケアや地域共生社会を進めていく中で、対象は幅広く巻き込んでいけるよう国も動いている。ICT については一般会計なので予算上の問題よりも、障害者を含め協議会にどう位置付けていくか見当が必要。障害の動きと合わせて早く動けるといいと考えている。

質問) 登録機関は医師会所属とある。対象が高齢者でなくても医師同士の連携は使える?

事務局) 実際は使えてしまうが、現段階では高齢者を対象としていた。対応範囲を決めていく必要はあるので、確認検討が必要。

ご意見) サルビー見守りネット上で、療養者とは安城市に在宅の方であり、介護保険持っているかは規定されていない。しかし 40 歳以下も在宅療養者として医師、訪看と連携できるとよい。セキュリティの問題さえクリアできれば対象を広げられるのでは。

事務局) 障害福祉課と確認していく

ご意見) 在宅での状況が病院も分かればスムーズな連携ができる。しかし病院によってはそれぞれの主治医が ICT の端末をもっているのでサルビー見守りネットの導

入は現実ではない。地域連携室が窓口となり、導入するのがいいのかなど意見が出
ていた。

東三河は協定を結び、電子@連絡帳を連携している。介護保険の審査のやり取りも
そこでやり取りするなど普及を進める取り組みがある。近隣の状況もみながら進め
てほしい。

ご意見) サルビー見守りネットでの患者のやり取りはケアマネ主導で、他の職種を巻
き込んでほしい。

退院により在宅医療にうつるタイミングで、ケアマネと主治医で目標を決め、各事
業所へサルビー見守りネットで照会する流れをルール化し運用できるといいのでは。

ケアマネ部会) すべてのケアマネが活用出来ていないので、すぐにできますといえな
いが、ケアマネ部会でもサルビー見守りネットについては今後も検討していき
たい。

ご意見) 誰かがやると思っていると進めないで、自分がやるという思いで進めてい
けるとよいと思う。

(4) 次年度の研修、検討テーマの提出について (資料4)

平成30年1月18日(木)まで事務局まで提出をお願いします。

ご意見) 研修会が重なる時期や、参加依頼が多い部会は負担となる。バランスや内容
の調整が必要と思われる。

事務局) 最初に事務局で調整するが、講師の都合等で重なってしまうことがある。お
互いに無理のないよう開いていきたい。ご協力をお願いします。

連絡事項

・在宅医療・介護連携推進のための研修会

テーマ: 精神障害者(引きこもりを含む)への支援(関係機関との連携、具体的なアプロ
ーチ方法について) (保健福祉部会)

日時: 平成29年12月14日(木) 午後2時から

場所: 市民会館 大会議室

講師: 社会福祉法人ぶなの木福祉会 相談支援事業所ひだまり 山北佑介氏、岡田裕也氏

・多職種ワークショップ研修会

テーマ: 病診連携及び退院カンファレンスに関する研修会(講演及びグループワーク)

日時: 平成30年1月13日(土) 午後2時から

場所: 八千代病院 大会議室

講師: 松本佳代氏(八千代病院看護副部長) 他2名

・社会福祉課 安城市地域福祉計画策定のための福祉事業者アンケート調査が介護保険サー
ビス事業所に今月中に発送されます。

・認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催日程については、決まり次第連絡します。

次回 平成29年12月21日(木) 午後1時30分~3時 社会福祉会館3階 会議室